

学 校 保 健

平成17年3月

No. 256

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
http://www.hokenkai.or.jp/

JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

輝かしい表彰校82校を讃える

「平成16年度 21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰によせて」



本日、ここ日本医師会館をお借りしまして、第3回の「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰式」をこのように盛大に行うことができましたこと、誠にうれしく思います。御列席の来賓の皆様をはじめ、全国各地から御出席を頂いた関係者の皆様にあらためてお礼を申し上げます。

また、何よりも表彰校となられた児童生徒の皆さんと先生方をお迎えできましたことは、この表彰事業を主催する者として喜びに堪えないところであります。

受賞校の皆さん、本日は、誠におめでとうございます。

さて、この表彰式も本年度で3回目となります。平成14年度に日本学校保健会がこの全国表彰事業を設けましたのは、学校における多くの現代的な健康課題について、積極的に取り組んでおられる先駆的な学校を推奨し、健康教育の模範校としての役割を担って頂ければと考えたからであります。

このことで多くの学校が触発され、意欲を持って、健康で明るい学校づくりに取り組んで頂ければ、児童・生徒を巡る幾多の健康問題の解決に少しでも役立つのではないかと、ひいては児童・生徒が、生命の核心である「健康であること」の意義を十分に理解し、生涯にわたって心身共に健康であることの大切さを学ぶことが期待できると確信したからです。

このことについては、各都道府県・政令指定都市の学校保健会や教育委員会からも御賛同を頂き、また御協力を頂きまして、本事業を実施することにしたものです。

今年度の選考は、各都道府県等の学校保健会から82校の御推薦を頂きました。選考審査は、審査委員の先生方が、昨年の9月から12月にかけて、書類審査から学校訪問まで、御多忙の中、熱心に審査して頂きました。結果は、本日登壇頂いている最優秀校4校、優秀校12校、特別奨励校2校、それに優良校64校を決めさせて頂きました。いずれの学校もそれぞれに、学校における健康教育を家庭や地域と一体となって取り組むなど、活動に工夫を凝らされ、表彰校にふさわしい、確かな健康教育を実践しておられることがうかがえました。

また優良校に選考された学校も、応募書類からではありますが、すばらしい活動に取り組んでおられることがうかがえて、頼もしく思いました。

82校の皆さん、重ねておめでとうございます。これからこの成果を生かして、さらに健康に努めて下さい。現在、学校における健康教育は、益々重要になってきております。この表彰事業は、今後とも引き続き、学校保健会の核となる事業として位置づけたいと考えておりますので、皆様の一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、この表彰事業に御後援頂きました文部科学省及び厚生労働省をはじめ関係団体の皆様並びに御協賛頂きましたP&G様には、心から感謝申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

目 次

輝かしい表彰校82校を讃える	1
審査を終えて	2
最優秀校の活動概要	3-6
平成16年度 21世紀・新しい時代の健康教育推進学校被表彰校一覧	7
平成16年度の学校保健統計調査速報について	8
幹旋販売の御案内	10
「わたしの健康手帳」3月中旬発売	12
会議等の動向	13
虎ノ門	14
事務局だより	15
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。FAXでお寄せください。	

(財団法人 日本学校保健会会長)

乞御回覧

校 長 教 頭 保健主事 養護教諭 学校栄養職員

PTA

会 長 副会長

審査を終えて

審査委員会小委員長

吉田 瑩一郎



1. 審査の経過

3年目を迎えた平成16年度の審査は、前年度までと同様書類審査と学校訪問による実地審査によって行われた。

書類審査では、提出された資料をもとに、優良校と優秀校候補の選考を行った。

その結果、推薦のあったすべての学校(小学校63校、中学校13校、高等学校6校計82校)がそれぞれの校種で「優良校」の水準にあり、全国的な大きな推進力になりえることが確認された。

そして、それらの中から秀れた活動を展開し、成果を挙げている優秀校候補校小学校13校、中学校3校、高等学校2校、特別奨励校1校を選び、実地審査を行った結果、優秀校候補校の中から「最優秀校」として小学校3校(小規模校1、中規模校1、大規模校1)、中学校1校、「優秀校」として小学校9校(小規模校3、中規模校6)、中学校2校、高等学校1校、特別奨励校2校(小学校1、高等学校1)を選考した。

2. 本年度の推薦状況から

各都道府県及び政令指定都市学校保健会から推薦のあった学校は、上記のように全体で82校であった。昨年度が73校であったので9校増えたことになる。これは新たに九州各県(佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)と高知県からの推薦があったことによるものである。

校種別では、小学校63校、中学校13校、高等学校6校であった。盲・聾・養護学校の推薦はなかったが、昨年度は東京都立八王子養護学校が優秀校であっただけに、次年度に期待したい。

そして、4年目を迎える17年度には、すべての県、政令指定都市から推薦があることを望んでやまない。

3. 活動状況の審査から

第一に、活動状況調査票の作成についてである。このことについては、書類作成の簡略化に配慮して「I 学校経営における健康教育」と「II 特徴的な活動」に区分し、I では学校における健康づくり活動の基本的な事項を、II では、学校が重点的に取り組んでいる健康課題克服のための具体的な活動の展開とその成果について、記述することが中心となっている。

したがって、II では指導計画と指導の展開・評価、家庭・地域社会との連携、成果と課題などが、よく分かるようになっていることが求められる。とりわけ、活動の評価を大切にし、成果と課題をいっそう明確にして活動の改善が図られることを期待したい。

第2に、「I 学校経営における健康教育」の項については、推薦のあった多くの学校が、心身の健康に関する目標を学校教育目標に掲げ、子ども一人ひとりが学ぶことに喜びを感じ、生き生きとした学校生活を送れるよう、授業のシステムや指導の改善、清潔で美しい環境づくりに努めるなど、いかにも「健康な学校」を体感させるものであった。

学校保健計画については、保健教育、保健管理、組織活動を含む総合的な基本計画として立案されるようになった。とりわけ、「保健指導」の項では学年別、月別に題材名が明記されるようになった。さらに、「総合的な学習の時間」における健康に関する活動についても、盛り込む学校が目立つようになった。

学校保健委員会については、「開かれた学校づくりの推進」の観点から、議題、話し合いの進め方、事後の活動などに改善の余地が多い。開催回数がそれほど多くないことも気になるところである。

最後に、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の活動には頭が下がる思いである。今後は、保健学習や保健指導の授業に、今少し参画できるようになることを期待したい。

(日本体育大学名誉教授)

自己の健康課題に気づき健康づくりの実践ができる児童の育成 ～環境教育とのコラボレーション～

群馬県高崎市立南八幡小学校 校長 梅澤 優幸



1. 学校経営方針と健康教育

本校では、『特色ある学校づくり』、『二学期制への取り組み』（市指定）や『環境のための地球学習観測プログラム（グローブ）』（文科省指定）をうけ教育課程を編成し、全教育活動を通して環境教育と健康教育の実践を図っている。学校教育目標は、『知・徳・体の調和のとれた、健康で活力のある児童の育成』。学校健康教育目標は、ヘルスプロモーションの視点をふまえ、「心身の健康課題をもてる子」「健康づくりの実践ができる子」とし、児童自身の主体的な健康づくりと実践化をめざして進めている。

2. 教育計画での位置づけ

健康教育を実践する上で、環境は切っても切り離すことのできない表裏一体なものという考え方のもとに16年目を迎えた。健康教育では、長期的な視野からの環境教育を意識しつつ、児童の発達段階に応じた今日的課題などを教育活動と関連づけて実践している。

3. 具体的な取り組み

- (1) **環境教育**：環境のための地球観測プログラムの活動や、キッズISOの活動、縦割り班花壇活動、地域美化活動、親子環境新聞づくり、牛乳パックリサイクル、ビオトープの観察、オオムラサキの飼育、しいたけの栽培など様々な取り組みを家庭・地域との連携を図りながら行なっている。（平成16年度環境大臣賞受賞）
- (2) **学校保健委員会**：学校保健委員会は、児童の健康推進を目的とし、学校医、学校職員、PTA役員、児童保健・運営委員、学校評議員等が参加し協議を行っている。年に5回開催し、内容をまとめ発表するとともに、調査研究の成果を各家庭に配布している。
- (3) **家族会議**：学校保健委員会のテーマに沿って年1回、家族の話し合いの機会として『家族会議』を設定し、家族みんなで健康に関心を高め、意識の

高揚に役立てている。

- (4) **けんこうカードの活用**：基本的生活習慣の定着や自己管理能力の育成をめざし、健康生活のめあてを決め、一週間自分の生活を振り返り親子で感想を話し合う。この話し合いの結果を集約し学校保健委員会で活用した。
- (5) **親子環境新聞**：親子環境新聞は、健康づくりと関連する環境に視野を広め、何が必要かを児童と保護者が考え、それを新聞にすることを通して、原点からの健康づくりをめざすものである。平成10年から夏休みの課題として実施し、発表会の後、環境学習室や保健室前に掲示している。
- (6) **スポーツ活動**：健康な体づくりと運動の習慣化を図るため、約40年にわたり朝マラソンを行い、また、今年度から放課後の教育課程外の教育活動として『南八幡きっず・すぽ一つ』を実施し、年間を通じてスポーツに親しみ、楽しむ生涯スポーツの視点に立った活動を行なっている。
- (7) **食に関する指導**：学校保健委員会では、食と健康についての議題を毎年取り入れ、平成15年度は、『朝ごはんの大切さ』や『選んで食べて健康な体』などについて協議を行った。給食は、『カミカミ月間』『カルシウム月間』『栄養月間』などを取り入れた年間計画を作成するとともに、地場産物を導入して、食の安全とともに郷土愛の啓発に取り組んでいる。さらに残菜等は、堆肥化し校内の花壇や学年の畑で活用している。



人として生きる基本となる“心と体の健康教育”の推進

東京都渋谷区常磐松小学校 校長 小野ヒサ子



1. 学校経営方針と健康教育

優雅で格調高い校風を誇る常磐松小学校の児童が、渋谷区民憲章のもと人間尊重の精神を基調として、個性の伸長を図り、心身共に健康な日本人として成長することを願い、学校教育を推進する。

開校以来の校訓である「健康、勤勉、上品」を継承し（目指す児童像）は ○元気な子 ○考える子 ○優しい子 ○働く子 である。

心と体の健康づくりを基盤とし生活体験・自然体験・地域社会との体験的なふれあいの充実を通して、社会の形成者としての資質を養い家族・地域・日本・世界の人々と共に生きることができる児童の育成に努めている。

また、保護者・地域に対しては、「すこやか会（学校保健委員会）」等で心と体の健康について啓発し、共に健康づくりに励む環境づくりを推進している。

2. 児童一人一人がめあてをもって取り組む健康づくり

教育計画において、本校の健康教育は(1)すこやかタイム（総合的な学習の時間）と(2)その他の特色ある活動を主に、各教科領域などに関連して位置付けている。

(1) すこやかタイム（総合的な学習の時間）

心と体の健康教育を1・2年生は授業時間外の余剰時間で、3年生から6年生は総合的な学習の時間に学校総合「すこやかタイム」として位置付けている。

心と体の健康づくりを主題とする学校総合「すこやかタイム」と、人と人、人と自然、人と社会に関わる課題（地域・情報・環境・福祉・国際理解等）をテーマとして取り上げた学年総合を関連付けて、学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育成し、自己の生き方を考えることができるようにすることをねらいにしている。さらに心と体の健康の課題を子ども自身に意識させるために、各教科や道徳の学習とともに、日々の保健・給食指導との関連を図っている。

年度当初「自分にぴったりの健康のめあて」をたて、めあてごとの異学年集団による創意工夫した活動や話し合い・報告会を行う、「健康のめあて集会」と「健康のめあて振り返り集会」を年4回実施している。

担任、専科、養護教諭、学校栄養職員をはじめ、学校

医、保護者、地域の方々などTT支援計画を作成し、子どもたち一人一人が自分のめあて達成へ向けて努力していくように働きかけている。

(2) その他の特色ある活動

- ・朝の「元気調べ（健康観察）」「体育朝会・音楽朝会」・中休みの「児童集会」「縦割り班遊び」等、日常の様々な活動を総合的に関連付け、心と体の健康づくりを推進している。
- ・（月）～（金）の毎休憩後「うがい・手洗いタイム」、毎給食後「歯みがきタイム」を設定している。
- ・2学年合同、異学年「交流給食」「マナー給食」「バイキング給食」等多様な給食活動を工夫し、健康づくりを意識した望ましい食習慣の形成に努めている。
- ・「はつらつ教室」（肥満傾向・喘息改善教室。学期に1回）を開催し、児童が自ら健康づくりに励む態度の育成を図っている。
- ・学校歯科医による唾液や咬合力の検査、6年間の年次を追った口腔写真撮影と歯みがき指導を行っている。
- ・「すこやかタイム」の参観、「すこやか会」の場を生かし、保護者・学校医・教職員が心と体の健康づくりの連携を深めている。
- ・児童対象の薬物乱用防止教室、防犯教室などを設け、喫煙・飲酒・薬物、また安全に関する正しい理解を深め、適切な行動がとれるようにしている。
- ・警察・地域・保護者と連携をとった、不審者対応、防犯教室・薬物乱用防止教室などの安全教育を行っている。

3. 成果と今後の課題

本校は、平成8・9年度渋谷区教育委員会研究推進校として、研究主題「一人一人がめあてをもって取り組む健康づくり」をすすめてきており、8年を経過した現在も「心と体の健康づくり」に担任、養護教諭、学校栄養職員、学校医がチームになって指導に当たり、家庭の健康への意識も高く非常に熱心である。

毎日の行動様式で累積された習慣づくりこそが健康教育のポイントである。健康を管理する能力は学校と家庭・地域で共通理解・共通実践を進めていくことで培われる。大人が手本を示し、子どもに試行錯誤を繰り返させながら、忍耐強く見守り、今後も日常の指導の積み重ねの中で、児童に「自分の健康は自分でつくる」という自覚と認識を育てていきたいと考えている。

すこやかな体とゆたかな心を育む健康教育

ほ い こ ざ い
愛知県宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校 校長 岡田 正三



1. 学校経営方針と健康教育

本校では、「健康は、学校教育全体を支える最も重要な基盤である」との考えのもと、健康教育に取り組んでいる。健康を体と心の面からとらえ、自他の「いのち」を尊重しながら、自分の

生き方をよりよい方向に改善しようとする児童の育成をめざしている。

(1) 教育計画における健康教育の位置づけ

児童の発達段階に応じ、教育活動全体を通じて健康教育を推進している。教育計画の立案にあたっては今日的な課題をふまえ、児童が自らの生活習慣や心身の状態などを見つめなおし、課題を自ら解決していく態度や安全に行動できる能力を身につけることを重視している。

(2) よりよく実践するための配慮事項

職員の共通理解を図り、学校三師や関係機関との連携を密にしながら指導を進めている。また、全職員が健康課題の把握に努め、指導計画をもとに、適切な資料を活用し、担任と養護教諭、あるいは外部講師との協力的指導の推進や、家庭や地域との連携を図るようにしている。

2. 具体的な実践

(1) すこやかな体を育む

保健学習や学級活動などにおいて、「よい姿勢」「丈夫な歯」「性の指導」を重視して指導してきた。それらの発展的な学習の場として、『あおい学習』（総合的な学習）を位置づけてきた。また、元気いっぱい運動場で活動する『わんぱくタイム』を設定した。その他、自分の健康は自分で守る意識を高める「健康観察」「歯みがきの指導」などを実践してきた。

(2) ゆたかな心を育む

「いのち」「共に生きること」の大切さを知る学習を推進した。人権尊重の精神を基盤に、個々のもつよさやちがいが尊重され、一人ひとりが存在感のもてる指導を進めてきた。その他、心に栄養を注ぐ朝の

「読書タイム」、自己肯定感を育む「よかったみつけ」（帰りの会）、心と心の結びつきを深める「なかよしペア学年活動」などを実践してきた。

(3) 家庭・地域社会との連携

『小西すこやかサミット』（学校保健委員会）は、「バランスのよい食事」「むし歯をなくそう」などをテーマに年5回実施した。また、『学校へおいDAY』（学校公開日）を年3回開催し、保護者や校区のみなさんをお迎えして、健康に関する授業を公開したり、薬物乱用防止教室や交通安全教室などを組み入れ、学校の取り組みをご理解いただくようにした。その他、地区懇談会で紹介したり、「校長室だより」「保健だより」などを発行して啓発を図ってきた。

3. 主な成果と課題

児童の「自分の健康は自分で守る」という意識が高まってきた。『わんぱくタイム』時だけでなく、始業前や放課も運動場で児童が喜々として活動している。歯みがき活動も、DMF指数を減少させる成果を得た。また、互いを認め合い、大切にしよう心が育ってきている。

『小西すこやかサミット』の充実により、「健康」への関心がより高まった。また、『小西すこやかサミット』『学校へおいDAY』などを通して、家庭・地域との連携もより密になった。

今後も、積み上げてきた実践を着実に継続し、児童のすこやかな体と心を育てていきたい。



健康な生活をめざした自己教育力の育成

あかいわ
岡山県赤磐郡山陽町立高陽中学校 校長 花田 文甫



1. 学校経営方針と健康教育

学校教育目標を「心豊かで、たくましく生きぬく生徒の育成」とし、豊かな心を持ち、自ら進んで学び、自ら考え根気強く実践する生徒の育成をめざしている。

そこで、健康教育目標を「健康な生活をめざした自己教育力の育成」と定め、自分の心とからだを健康に保つために自ら進んで生涯にわたり実践する能力と態度の育成(生きる力を育む)を図る。

2. 健康教育計画

健康教育実践上の配慮として

- ① 学校教育全分野に健康教育を位置づけ、人間関係づくりに基盤をおいて取り組む。
- ② 学校保健委員会組織の見直し、体制づくりを図る。
- ③ 学校医等の専門家や保健関係機関等々の協力・支援を得て取り組む。
- ④ 生徒保健委員会の活性化を図り、内発的動機によって健康学習を実践する。
- ⑤ 保護者の健康学習活動を推進する。
- ⑥ 地域に開かれた学校づくりに健康教育を位置づけ、地域の人材の活用を行う。
- ⑦ 健康教育の推進に関する教職員の資質を高めるための校内研修を充実する。

3. 健康教育目標達成に向けての具体的な取り組み

(1) 生徒保健委員会の活動として

- ① 12月1日の「世界エイズデー」にちなみ、エイズ患者やウイルス感染者への理解と支援の意志を示そうと、赤いリボンを身につけるレッドリボン運動。
- ② ストレスチェックにより自身の持っているストレスについて理解し、その解消方法を模索するなど自らの健康について考えさせる学習。
- ③ 学期に1回(1週間程度)、歯科医の指導のもと歯周疾患の予防について取り組みを進めるため、歯みがきコンクールを実施。
- ④ 「1日の活動のエネルギーをしっかりと朝食で摂取し

よう」と朝食の重要性についての啓発活動の実施。

- ⑤ 性に関する生徒の実態に基づき、外部講師による「性教育講演会」を開催。

(2) 地域の人材活用事業の実施(地域連携健康教育講座)として、総合的な学習の時間に、地域の有識者の協力を得て生徒の健康に関する自己管理能力(自己マネジメント能力)を培かうためのヘルスアップ講座の開設。

4. 成果と課題

(1) 成果としては、

- ① 健康教育・管理を計画的・継続的・組織的に推進する体制が確立。
 - ② 校内研究により、定期的な教育相談の充実が図れた。
 - ③ 生徒保健委員に校内の健康推進者としての意識が高揚。
 - ④ 健康教育諸活動が生徒の健康生活に対するイメージや意識の高揚に繋がっている。
- などの成果がある。

(2) 課題としては、

- ① 人間関係づくり(集団づくりを含む)と心の健康(人権意識の高揚)に焦点を当てた取り組み。
 - ② 生徒自らの課題として実践でき、日常生活に生かすことができる態度の育成。
 - ③ 保護者の意識改革を図るためPTA活動における取り組みの充実。
 - ④ 学校医等の専門家、関係機関とのより密接な連携と協力を得る必要。
 - ⑤ 疾病の治療率向上のため、生徒及び保護者に対する指導の工夫が必要。
- などが課題である。



平成16年度 21世紀・新しい時代の 健康教育推進学校被表彰校一覧

平成16年度(第3回)の21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰式は、平成17年2月17日、日本医師会館(東京都)で行われました。栄えある表彰を受けられた学校は、下記のとおりです。

最優秀校

群馬県 高崎市立南八幡小学校
東京都 渋谷区立常盤松小学校

愛知県 小坂井町立小坂井西小学校
岡山県 山陽町立高陽中学校

優秀校

岩手県 二戸市立中央小学校
福島県 東和町立木幡第二小学校
栃木県 那須塩原市立南小学校
群馬県 太田市立南中学校
富山県 新湊市立堀岡小学校
長野県 岡谷市立岡谷小学校

愛知県 武豊町立富貴小学校
滋賀県 近江八幡市立武佐小学校
山口県 山口県立山口高等学校
香川県 飯山町立飯山中学校
鹿児島県 東町立伊唐小学校
北九州市 北九州市立西小倉小学校

特別奨励校

大阪府 大阪府立箕面東高等学校

沖縄県 糸満市立糸満小学校

優良校

北海道 北海道利根高等学校
青森県 八戸市立吹上小学校
青森県 金木町立喜良市小学校
岩手県 紫波町立佐比内小学校
岩手県 一戸町立一戸中学校
宮城県 女川町立女川第三小学校
山形県 朝日町立大谷小学校
山形県 鶴岡市立栄小学校
山形県 酒田市立富士見小学校
福島県 棚倉町立山岡小学校
茨城県 総和町立下辺見小学校
栃木県 真岡市立大内中学校
群馬県 水上町立水上中学校
埼玉県 鳩山町立鳩丘小学校
埼玉県 加須市立三俣小学校
埼玉県 川島町立川島中学校
千葉県 船橋市立八木が谷北小学校
千葉県 松戸市立河原塚中学校
千葉県 立四街道高等学校
東京都 文京区立指ヶ谷小学校
東京都 豊島区立朝日小学校
東京都 北区立稲田小学校

神奈川県 大井町立相和小学校
神奈川県 南足柄市立南足柄中学校
新潟県 新潟市立五十嵐中学校
富山県 大山町立上滝小学校
富山県 立水橋高等学校
石川県 金沢市立森山町小学校
静岡県 相良町立萩間小学校
愛知県 田原市立東部中学校
滋賀県 蒲生町立蒲生北小学校
滋賀県 びわ町立びわ北小学校
滋賀県 立能登川高等学校
京都府 笠置町立笠置小学校
京都府 亀岡市立吉川小学校
兵庫県 小野市立河合小学校
奈良県 月ヶ瀬村立月ヶ瀬小学校
和歌山県 古座町立古座小学校
岡山県 岡山市立岡山中央南小学校
山口県 岩国市立川下小学校
山口県 阿知須町立阿知須小学校
香川県 土庄町立土庄小学校
香川県 国分寺町立国分寺南部小学校
高知県 高知市立横浜小学校

福岡県 大野城市立御笠の森小学校
佐賀県 大町町立大町小学校
長崎県 長崎市立稲佐小学校
長崎県 長崎市立銭座小学校
長崎県 新上五島町立今里小学校
熊本県 熊本市立慶徳小学校
熊本県 八代市立昭和小学校
大分県 豊後高田市立桂陽小学校
大分県 豊後高田市立高田中学校
宮崎県 日南市立油津小学校
鹿児島県 鶴田町立柏原小学校
鹿児島県 山川町立山川小学校
沖縄県 糸満市立糸満南小学校
名古屋市 立瑞穂ヶ丘中学校
京都市 立仁和小学校
京都市 立西院小学校
神戸市 立若草小学校
広島市 立古市小学校
広島市 立可部小学校
さいたま市 立三室小学校

平成16年度の学校保健統計調査速報について

文部科学省は昨年12月16日に、標記の調査速報を発表しました。この調査は、学校保健法に基づき、同省が、幼稚園児から小・中・高校生を対象に、昨年4～6月の間に実施した学校における健康診断結果を抽出、速報としてまとめたものです。調査結果の詳細は、本年6月頃に調査報告書として刊行される予定になっています。

この速報は、幼児、児童、及び生徒の「発育状態」(体格・身長、体重及び座高)及び「健康状態」(疾病・異常被患率等)についてまとめられており、ここでは「健康状態」について、発表された資料に基づき、主な図表と注釈等の要約を掲載します。

なおこの速報の詳細は、文部科学省のホームページに掲載されていますので、御参照下さい。

(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/index.htm)

1. 主な疾病・異常等の推移 (表1)

1) 「裸眼視力1.0未満」

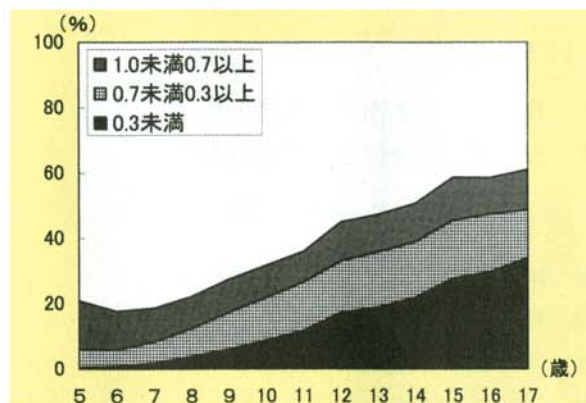
- ① 平成16年度の「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、小学校を除くすべての学校段階で前年度より低下している。(表1より)

表1 主な疾病・異常等の推移総括表

区 分	裸 眼 視 力 1.0 未 満 の 者	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	む し 歯 (う 歯)	肥 満 傾 向	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	寄 生 虫 非 保 有 者	ぜ い 病
幼稚園	平成16年度 23.8	...	...	...	77.0	0.8	...	0.7	1.9	0.8
12	28.7	1.9	3.3	3.1	64.4	0.7	...	0.4	0.8	1.3
13	27.2	2.1	3.2	3.0	61.5	0.6	...	0.6	0.6	1.3
14	26.5	2.0	3.5	2.4	61.5	0.6	...	0.4	0.4	1.3
15	25.3	2.2	3.0	3.2	58.8	0.6	...	0.3	0.4	1.5
16	20.8	1.8	2.7	2.3	56.9	0.5	...	0.6	0.3	1.3
小学校	平成16年度 24.7	...	...	...	88.0	2.7	...	0.8	2.3	1.4
12	25.3	4.1	11.3	2.2	77.9	2.7	2.1	0.6	1.4	2.5
13	25.4	4.2	10.7	1.8	75.6	2.8	2.2	0.6	1.2	2.5
14	25.7	4.3	11.2	2.2	73.9	2.6	2.2	0.6	0.9	2.7
15	25.6	4.5	11.1	2.2	71.3	2.6	2.3	0.6	0.8	2.9
16	25.6	4.3	10.4	1.9	70.4	2.5	2.5	0.6	0.7	3.1
中学校	平成16年度 48.8	...	...	...	87.7	1.8	...	1.9	...	1.3
12	50.0	2.5	9.4	1.0	76.9	1.7	3.1	2.0	...	1.8
13	48.2	2.4	9.0	1.1	73.8	1.9	3.0	2.0	...	1.9
14	49.0	2.6	9.4	1.3	71.2	1.9	3.1	2.1	...	2.2
15	47.8	2.7	10.1	1.2	67.7	1.7	3.5	1.9	...	2.3
16	47.7	2.7	9.3	1.1	64.6	2.0	3.3	2.0	...	2.4
高等学校	平成16年度 62.3	...	...	...	92.0	1.3	...	1.8	...	0.8
12	62.5	1.2	7.1	0.8	85.0	1.5	2.9	1.8	...	1.3
13	60.3	1.3	7.4	0.8	83.7	1.5	3.0	1.9	...	1.3
14	63.8	1.7	7.7	0.8	82.3	1.5	3.1	1.8	...	1.4
15	60.0	1.2	7.4	0.8	77.9	1.5	3.3	1.7	...	1.3
16	59.3	1.3	6.8	0.7	76.0	1.5	3.3	1.9	...	1.5

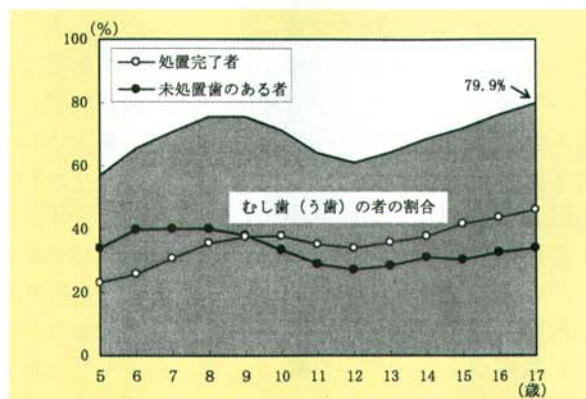
(注) 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。
2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
3. 寄生虫非保有者については、5歳から8歳のみ実施している。

図1 年齢別 裸眼視力1.0未満の者の割合



- ② 年齢別にみると、「0.3未満の者」の占める割合が年齢が進むにつれて高くなっているため、「裸眼視力1.0未満の者」の全体の占める割合も高くなっている。(図1より)

図2 年齢別 むし歯(う歯)の者の割合等



- 2) 「鼻・副鼻腔疾患」(蓄のう症、アレルギー性鼻炎等)
3) 「むし歯(う歯)」

- ① 平成16年度の「むし歯の者」の割合は、すべての学校段階で前年度より低下している。(表1より)
② 年齢別にみると、17歳(79.9%)が最も高くなっている。(図2より)
③ 「むし歯の者」の割合の推移を見ると、30年前(昭和49年度)には、すべての学校段階で90%を

表2 むし歯(う歯)の者の割合の推移

		(%)							
区 分		昭和49	59	平成6	12	13	14	15	16
幼稚園	計	94.0	83.9	77.0	64.4	61.5	61.5	58.8	56.9
	処 置 完 了 者	9.1	23.6	28.2	25.1	23.4	24.1	22.7	23.0
	未処置歯のある者	84.9	60.3	48.8	39.4	38.1	37.4	36.1	33.9
小学校	計	94.3	91.5	88.0	77.9	75.6	73.9	71.3	70.4
	処 置 完 了 者	14.3	30.0	39.3	37.8	36.4	35.4	34.4	33.7
	未処置歯のある者	80.0	61.5	48.7	40.0	39.2	38.5	37.0	36.7
中学校	計	93.1	92.2	87.7	76.9	73.8	71.2	67.7	64.6
	処 置 完 了 者	27.7	40.8	42.5	43.5	41.2	40.1	38.2	35.8
	未処置歯のある者	65.3	51.4	45.3	33.3	32.6	31.1	29.5	28.8
高等学校	計	94.5	94.3	92.0	85.0	83.7	82.3	77.9	76.0
	処 置 完 了 者	28.8	41.3	47.5	49.7	48.7	48.5	46.7	43.7
	未処置歯のある者	65.7	53.0	44.5	35.3	34.9	33.8	31.2	32.2

表3 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数

		(本)					
区 分		平成6	12	13	14	15	16
計		4.00	2.65	2.51	2.28	2.09	1.91
喪失歯数		0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03
むし歯(う歯) 計		3.95	2.61	2.48	2.24	2.06	1.88
むし歯(う歯)	処 置 歯 数	2.82	1.88	1.73	1.55	1.40	1.25
	未処置歯数	1.14	0.73	0.75	0.69	0.65	0.62

超えており、一時上昇傾向にあったが、昭和50年代半ば以降は低下傾向にある。(表2より)

- ④ 「12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯等(喪失歯及びむし歯)数」をみると、「喪失歯数」はほとんど変化がないが、「むし歯数」は1.9本となっており、昭和59年に調査を開始して以降、減少傾向にある。10年前の平成6年度と比べると2.1本減少している。(表3より)

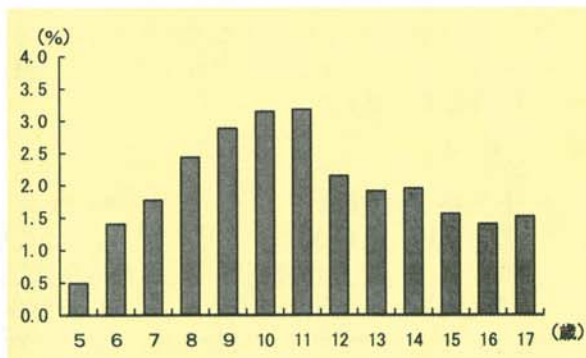
4) 「肥満傾向」

- ① 平成16年度の「肥満傾向の者」(学校医から肥満傾向と判定された者)の割合は、前年度に比べ、幼稚園及び小学校で低下し、中学校で上昇、すべての学校段階でこの10年間は横ばい傾向にある。(表1より)
- ② 年齢別にみると、10歳及び11歳で高くなっている。(図3より)

5) 「心電図異常」〈6歳、12歳及び15歳時のみ〉

- ① 平成16年度の「心電図異常」の割合は、前年と比べると小学校で上昇し、中学校で減少している。(表1より)

図3 年齢別 肥満傾向の者の割合



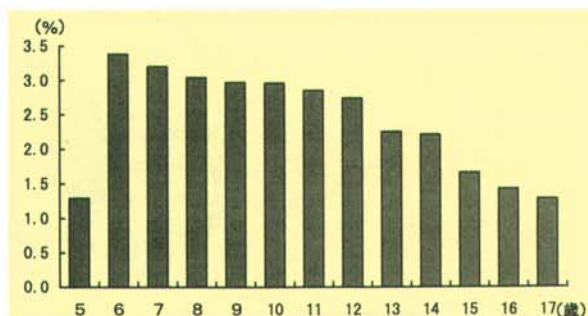
6) 「寄生虫卵保有者」〈5歳から8歳児のみ〉

- ① 平成16年度の「寄生虫卵保有者」の割合は、幼稚園及び小学校でこの10年間は低下傾向にある。

7) 「ぜん息」

- ① 平成16年度の「ぜん息の者」の割合は、前年度に比べると幼稚園で低下し、他のすべての学校段階で上昇傾向にある。(表1より)
- ② 年齢別にみると、6歳が最も高くなっているが、6歳以降は年齢が進むにつれて低くなる傾向にある。(図4より)

図4 年齢別 ぜん息の者の割合



幹 旋 販 売 の 御 案 内

1 歯型模型「ジョーズ」と歯型模型専用マニキュア「アートブラーク」

歯型模型 **ジョーズ** (アートブラーク専用)



簡易歯ブラシ付き
サイズ(m/m):
200×230×H136

アートブラーク



内容量:
8mℓ ボトル2本入り
(1本あたり約7回分)

本品の特長

歯型模型「ジョーズ」に専用マニキュア「アートブラーク」を塗布し、歯ブラシでブラッシングすると歯ブラシの当たった部分だけマニキュアが除去、白い歯が見えます。磨き残しの多い歯と歯の間や歯の凹部など、歯磨きの状況が一目で分かり、効果的な歯磨き指導ができます。

歯型模型「ジョーズ」は、軽量で片手で簡単に操作ができ、また獅子舞のように見えて、子供たちの興味関心をひき指導に適切です。

価 格

セット価格 (歯型模型「ジョーズ」+専用マニキュア「アートブラーク」)

幹旋価格 (14,000円/1セット) 希望小売価格 (14,800円)

* 消費税別途、送料込み但し沖縄及び離島は送料実費が必要

単品価格 歯型模型「ジョーズ」は、12,000円。専用マニキュア「アートブラーク」は、3,850円。
いずれも消費税別途、送料込み。

2 「ホルムアルデヒドテストストリップ」

本品の特長

本会「シックハウス実態調査検討委員会」で測定実験を行い、その結果から日本学校薬剤師会でも学校において有効活用できると認定頂いているものです。

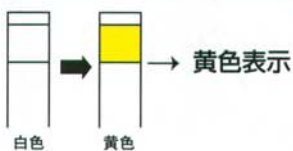
この商品は、教室等の部屋に在るホルムアルデヒドを簡易に検査する試験紙で、「安全な教室」と「対策を講じるべき教室」とを明らかにします。精密な測定を行う前の予備調査に最適で、学校現場におけるアルデヒド対策を効果的に進めることができます。

価 格

包装「35枚入り」1箱 4,500円
(希望小売価格5,000円)

包装「10枚入り」1箱 1,800円
(希望小売価格2,000円)

テストストリップが黄色く発色すれば、ホルムアルデヒドを検出
設置した雰囲気中に、ホルムアルデヒドが存在すれば試験紙が黄色く発色します。



「35枚入り」



**シックハウスの
原因物質を
簡単チェック!**

室内に置くだけ!

ホルムアルデヒドを
検出すると黄色に変色!

ホルムアルデヒドテストストリップ



関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬部 TEL: (03) 3663-7631

インターネットでも
商品の情報をご覧いただけます。
<http://www.kanto.co.jp/siyaku>

③ エアーモニタ「換気予報」

●エアーモニタ「換気予報」の斡旋販売のご案内

お部屋の空気よごれを知らせる

換気予報
AIR MONITOR

◆斡旋販売価格 9,500円(税別送料込)
希望小売価格 14,800円

シックハウス対策の決め手は換気です。

「換気予報」は、空気のおよれを感知して、

換気のタイミングをお知らせするので、

児童・生徒への換気教育に最適です。



学校での換気の習慣づけに「換気予報」

④ 新規販売 ケミフリー空気清浄機「エアーイーサー」

本会では、ケミフリー空気清浄機「エアーイーサー」(販売元「(株)レモン」)を各都道府県・市町村教育委員会・学校に対し、本年3月1日から斡旋販売することになりましたのでご案内いたします。

化学物質過敏症の診断・治療施設から生まれた「エアーイーサー」は、塵・埃・花粉・カビ・細菌等の粒子状汚染物質の除去はもとより、ホルムアルデヒド・揮発性有機化



(B-350型)

合物(VOC)等のガス状汚染物質や種々の臭いの成分を改質活性炭で吸着し、室内空気の化学物質までも減らす、従来とは異なる設計の空気清浄機です。



(D-1000型)

機 種	台数	希望小売価格	販売価格
D-1000型	1台	2,200,000	1,500,000
B-350型	1台	650,000	300,000
B-250型	1台	500,000	245,000
B-150型	1台	400,000	190,000
C-100型	1台	220,000	112,000
C-50型	1台	180,000	92,000
A-120M型	1台	420,000	210,000

(いずれも消費税・送料込み)

また、本体から化学物質を出さない材料の使用と製造を実施しています。適応面積に応じて7機種をラインナップしており、教室・音楽室・保健室等、学校内の室内空気環境の改善に是非お役立てください。

斡旋販売の①、②、③及び④のお申し込み

購 入 方 法

○購入申し込みの学校又は教育委員会等名 ○住所 ○電話番号 ○申込者名 ○申込数
以上を下記宛にFAX又は御郵送願います。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-7 虎ノ門2町名タワー6階
財団法人 日本学校保健会 FAX. 03-3592-3898

斡旋商品の問い合わせ

①、②、③に関しては 03-3501-2000
④のご購入に関するものは 03-3501-2011
④の性能・適応面積などに関するものは 03-3501-2011

「わたしの健康手帳」(3月中旬発売予定)

1 定 価

2,500円 (税込み・送料別)

*実費の定価設定のため、割引はできません。

2 特 徴

- 1) 自己又は(保護者)が自ら記録・保管することによって健康に関心を持ち、それを日常生活の実践(習慣)に結びつけさせることができる。
- 2) 健康に関する資料も掲載しているので、養護教諭等の指導資料としても活用できる。
- 3) 出生から成人に至るまでの健康情報を記録することができる。
- 4) 医療機関での受診に際し、有用な資料となる。
- 5) 家庭(保護者)で保管し、個々のプライバシーを管理できる。

購入申し込み先 (財)日本学校保健会 担当 原田
 申し込み方法 FAX 03-3592-3898
 インターネット注文 <http://www.hokenkai.or.jp/>
 購入問い合わせ TEL 03-3501-3785
 内容等その他問い合わせ 担当 与那嶺
 TEL 03-3501-2011 FAX 03-3501-2012

このたび、日本学校保健会では「わたしの健康手帳」を発売することにいたしました。この手帳は出来るだけ多くの子どもたちが、自分の健康に関心を持ち、日常生活の中で自主的に健康へ取り組んでいけることなどをねらいとして、作成したものです。

- 6) 生涯の使用に耐え得る堅牢なバインダー方式で、新旧の資料の差し替えが便利で、健康に関する資料、健康診断結果も随時綴じることができる。



仕様は、A4版、54頁(予定)

好評発売中

「足の健康と靴のしおりー靴について考えてみませんかー」



昨年10月に発行した「足の健康と靴のしおり」について簡単に紹介します。この本は、本会の「足の健康に関する調査研究委員会」が、児童生徒のための適切な靴選びについてまとめたもので、副題も「靴について考えてみませんか」となっています。教師や保護者にとって指導資料として活用できるようになっています。

内容は、足の健康のために望ましい靴の選び方、適切な靴の履き方、靴の歴史と文化、それに足に関係するトラブルとして外反母趾、巻き爪、水虫、浮き指等についてQ&A式でわかりやすく応え、写真・イラストも沢山取り入れています。各家庭でも常備したい冊子です。1部200円(送料別途)

JES

「足と地球の健康を考えよう」

シューズのリサイクル

足に合わない小さなクツや、先の細いクツを履いていると、足の指が曲がったり、爪が変形して痛んだりします。底の薄いクツを履いて硬いところで運動すると、カカトやヒザが痛くなったり、足の骨が折れたりすることもあります。通気性の悪いクツを履いていると、足が蒸れて、疲労が増したり皮膚炎になったりします。元気に運動して健康になるには、シューズはとても大切です。

履けなくなったたくさんのクツがゴミとして捨て

られ、地球が病気になっています。元気な地球に戻すためには、ゴミを減らすこと、もう一度使える物をリサイクルすることが大切です。

足の健康を守ってくれた「JESシューズ」をリサイクルして、地球の健康も守りましょう。

日本教育シューズ協議会
 岡山市 西川原 1 丁目 11 番 6-1 号
 〒703-8258 TEL (086) 272-5463



会 議 等 の 動 向

I 「平成16年度日本耳鼻咽喉科学会学校保健 全国代表者会議並びに学校保健研修会」

1. 日 時 平成17年1月29日(土)～1月30日(金)
2. 場 所 東京都「東海大学校友会館」
3. 主 催 (社)日本耳鼻咽喉科学会
4. 会議内容
 - 1) 委員会等の報告(耳鼻学校保健委員会及び本会等の報告)
 - 2) 協議(「5年間の耳鼻咽喉科健康診断の全国定点調査の結果と今後の方向性」、「耳鼻咽喉科学校医の研修の在り方」)
5. 研修会
 - 1) 「子どもの脳の育成」
(北海道大学教授 澤口俊之)
 - 2) 「シックスクールについて」
(文部科学省健康教育調査官 鬼頭英明)
6. 参加者 140人

II 「平成16年度 学校保健センター事業報告会」

1. 日 時 平成17年2月17日(木)
2. 場 所 東京都「日本医師会館」
3. 主 催 本 会
4. 会議内容
 - 1) 全体会(健康教育表彰校研究発表、学校保健センター事業及び各委員会の活動報告、保健主事資質向上委員会(吉田委員長)報告、聴力調整指導小委員会(柳原委員長)報告)
 - 2) 分科会(保健学習推進委員会(和唐委員長)、薬物乱用防止教育教材作成小委員会(川畑委員長))
5. 参加者 250人

III 「全国養護教諭連絡協議会 第10回研究協議会」

1. 日 時 平成17年2月25日(金)
2. 場 所 東京都「メルパルクホール」
3. 主 催 全国養護教諭連絡協議会
4. 会議内容
 - 1) 基調講演(文部科学省健康教育調査官 采女智津江)
 - 2) フォーラム(「健康教育実践者としての養護教諭」)
 - 3) 調査研究発表(「悉皆調査報告」森調査研究委員長)
 - 4) 特別講演(「命よみがえれ」作家 五木寛之)
5. 参加者 1,700人

IV 「平成16年度 学校医講習会」

1. 日 時 平成17年2月26日(土)
2. 場 所 東京都「日本医師会館」
3. 主 催 日本医師会
4. 会議内容
 - 1) シンポジウム「学校におけるリスクマネジメント」
(「PTSD対策」井出 浩 神戸市こども家庭センター参事)
(「感染症対策」岡部信彦 国立感染症研究所感染症情報センター長)
(「心肺蘇生法とAFD」浅井利夫 東京女子医大教授) 他
 - 2) 講演「運動器と学校医 ―スポーツ障害・生活習慣病予防のための適正な運動・スポーツの在り方」武藤芳照 東京大学大学院教授
 - 3) シンポジウム「各科専門医の学校保健活動」
(「日医のモデル事業」から、また産婦人科、精神科、整形外科及び皮膚科それぞれの立場からの報告・意見交換)
5. 参加者 450人

しっかり届く。
きれいに磨ける。

おはようからやすみまで
くらしに夢をひろげる
LION

先端丸形カット



「先端丸形カット」の毛先で、
生え替わり期の高さが不揃いの歯も
きれいに磨けます。



ライオン
こども
ハブラシ
(6才～12才用)



推薦
日本学校保健会

虎ノ門 (77)

「おもてなしの文化」

日本には、「おもてなしの文化」が無いと言った著名人がいた。

はたしてそうだろうか？

人それぞれ、家庭それぞれのおもてなしのやり方はあるが、文化といった場合、日本では“茶道”に代表されるおもてなし(茶事)が究極の「おもてなし文化」ではないだろうか。

庭のお手入れに始まり、旬の懷石、吟味した抹茶と菓子、客に合わせた季節の道具、最後にちょうど咲きかけた季節の花と、亭主は客をもてなすために心を砕き、最高の“時”を作り上げようと努力する。

また客はその亭主の心遣いを汲みとり、至福の時を噛み締め感謝の心で帰路につく。

常に相手を思い、相手の心を汲み、いかにしたら快適な、満足のいくおもてなしができるかについて配慮する。

このふたとき(4時間)の時間的空間を、亭主と客がお互いに相手を思っ作り上げる満足感は何にも代えがたく、主と客双方の心がピッタリあったときが最高である。

この時を共有するために、常日頃、五感を磨き、多方面の知識が必要になる。

私は、この常にお互いに、相手の立場にたち、相手を想って行動することの大切さを痛感するこの頃である。
(編集委員 白石 美智子)

お知らせ 「色の変わるガム」の販売について

本会報でお知らせしています「色の変わるガム(商品名:キシリトールガム咀嚼力判定用)」について、各読者からのお問い合わせが数十件ありました。このため本会では、各学校が購入し易いように下記販売元と協議していますが、この結論は同商品が本会推薦の認定を受けることが前提となります。この認定には、今しばらくの時間を必要といたしますので、その旨ご了承願います。

なお、現在下記の条件で販売しておりますので販売元に直接お申込みください。

販 売 元: 株式会社 オーラルケア

電話 0120-500-418 FAX. 0120-500-518

販売単価: 「1枚 100円」

販売単位: (1) 「50枚」(発送費別)

(2) 「100枚」(発送費含む)



トマトの苗木プレゼントのお知らせ



カゴメ株式会社の御協力により、昨年同様トマトの苗木をプレゼントします。小学校を対象に、トマトの苗木を育て、収穫して食べてもらい、にがてな野菜を克服するという趣旨で企画しました。

1校につきトマトの苗96本又は48本をお送りします。4月9日(土)までにFAXで、①学校名②担当者名③住所④電話番号⑤FAX番号⑥希望苗数(96本又は48本)をご記入の上、下記までお申込みください。各校へのお届けは、4月中旬から5月中旬の予定です。数に限りがありますので、お申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。お送りする場合は、事務局よりFAXにてお届け日をお知らせします。

F A X: 03-5919-0203 カゴメ「トマト苗プレゼント」学校保健係

お問合せ: 0120-375-301 (受付9:30~18:00 土・日・祝日を除く)

事 務 局 便 り

1. 年度末は、各学校でも、卒業式や入学式の準備であわただしいことと思います。本会事務局も、各種事業の執行に追われ、また決算や新年度の事業計画等の業務などもあって多忙さもピークを迎えています。このような時こそ、ゆとりの気持ちが必要ようです。
2. 去る2月17日には、3回目となる健康教育推進学校表彰式が日本医師会館で行われました。このため、この3月号はこれに関する掲載記事が大半を占めることになりました。表彰校に選ばれた学校関係者の喜びは、ひとしおでした。あらためて、この事業を担当している事務局員一同、お祝い申し上げます。この表彰式をもって、応募、選考審査及び表彰までの1年間、作業事務を滞りなく終えることができ、ほっとしております。また明日からは、来年の表彰に向けて準備作業が始まります。なお日本医師会様には、会場の無償提供をして頂いた上に、職員の方々のお手伝いを頂きました。誌上をお借りしてお礼申し上げます。
3. 本会の活動は、皆さんの御理解と御支援のもとに、

成り立っております。特に、本会が、今後とも財団法人として継続的に事業を進めるためには、財政基盤の維持確保が必要です。このことから現在、多くの方々に本会の賛助会員となって頂くことをお願いしています。賛助会費(1年間)は個人の場合、5千円、企業等の法人は、10万円です。御加入して頂くと、この会報誌を(年5回)お送りします。詳しくは、本会のホームページ「賛助会員コーナー」または本会事務局までお知らせ頂ければ幸いです。出費多難な折り恐縮ではありますが、是非とも御検討をお願いします。

4. 本会の事務局長として、4年半勤めた、玉垣さんが1月末日で、定年退職いたしました。厳しい状況の中、本会の財務改善や新しい事業の展開を図るなど積極的にリーダーシップを発揮し、事務局員一同公私ともに、多くのことを学ぶことができました。「本会の管理運営に大きな成果を上げられた玉垣さん」本当に御苦労さまでした。後任として、久保が重責を担うこととなりました。今後とも御指導・御鞭撻をよろしくお願いします。

ウィスパー ハッピー「始・春・期」プログラム 保護者用教材セットをさしあげます。

学校と家庭が手を取り合って、思春期が始まる頃の子どもをサポートするためのプログラム—それがウィスパー ハッピー「始・春・期」プログラムです。保護者会や林間学校説明会などで、先生から保護者に子どもの心や体について説明する際の教材セット(保護者用)を無料で提供。保護者が、ホルモンの働きや身体のしくみを正しく理解して、子どもとのコミュニケーションを保つお手伝いをいたします。

お使いいただく対象

思春期が始まる子どもの保護者

教材セット内容(無料)

- ① 保護者用テキスト「思春期の子どものココロとカラダ」(A4判カラー24P)
- ② ポスター (B1判カラー1枚)
テキストの要点がコンパクトにまとまったポスター
- ③ 実施する先生方のためのガイド (CD-ROM/1枚)
プログラムの進め方を示した指導案や図・イラスト集
- ④ 別冊付録 (A4判カラー12P)
女性の1ヶ月のホルモンサイクルを快適に過ごす方法などを紹介

※2005年9月末日までにお申し込みの方に、生理用ナプキンのサンプルをプレゼントいたします。

お申し込み方法

学校名/担当者名/郵便番号/住所/電話番号/
対象保護者人数/使用機会/使用時期を明記の上、
FAXまたはEメールでお申し込みください。
※①、④は必要人数分をお送りいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

ウィスパー ハッピー「始・春・期」プログラム事務局
TEL: 03-3549-1684 FAX: 03-3549-1685
E-mail: info@whisper-shishunki.com
※HPからもお申し込みいただけます。



保護者用テキスト

「思春期の子どものココロとカラダ」
内容:ホルモンの働きと変化、体の基礎作り、心の変化とストレス、にきびや体臭、下着の選び方、男の子と女の子の心と体Q&A、月経期のケア、性犯罪から身を守る、など。

監修:財団法人 日本学校保健会
医学監修:堀口雅子(産婦人科医)

教材の詳細と活用事例は <http://www.whisper-shishunki.com>

カワイ肝油ドロップ

発育期に欠かせないビタミンが凝縮されたカワイ肝油ドロップは、「わんぱく」を応援します。



カワイ肝油ドロップ C (医薬品)



カワイ肝油ドロップ M (医薬品)



製造 河合製薬株式会社

販売 河合薬業株式会社

東京都中野区中野6-3-5

TEL:03-3365-1156(代)

保健室の常備品

(財)日本学校保健会推薦

ポカリスエット

商品に関するお問合せは

大塚製薬株式会社 03-3293-6111

ホームページ <http://www.otsuka.co.jp/poc/>



すばやく補給 水分とイオン。

ポカリスエット500mlペットボトル1ケース
抽選で10校様へ無料進呈します

学校名、住所、TEL、ご担当者名、担当職、
学校でのポカリスエットの活用方法をご記入の上、下記「健康と料理社ポカリスエットプレゼント係」宛てにハガキでご応募ください。

※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募〆切：平成17年5月末日

応募に関するお問合せは：健康と料理社 〒102-0075 東京都千代田区三番町24林三番町ビル4F TEL03-5275-6838/担当 河西



フィンランド トゥルク大学
カウコ・マキネン名誉教授

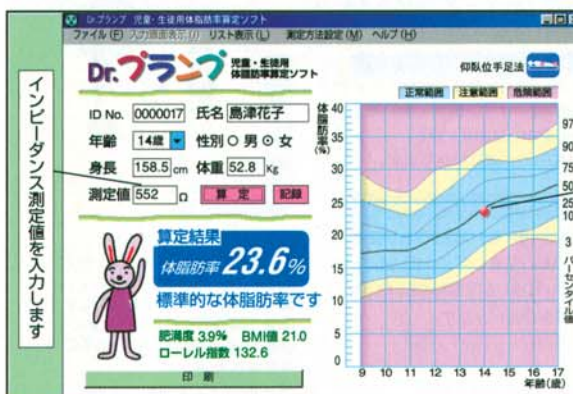
ロッテ キシリトールガム+2で、 歯を丈夫で健康に



(財)日本学校保健会推薦
(社)日本学校歯科医会推薦

FDI (国際歯科連盟) 賛助商品。ガムをかんだ後は紙に包んでくずかごへ。厚生労働省許可 保健機能食品 (特定保健用食品)

むし歯のない社会へ XYLITOL



(財)日本学校保健会推薦

小児肥満対策、
保健指導に

Dr. プランプ

児童・生徒用体脂肪率算定ソフト Ver.1.0

Dr. プランプは成長とともに変化する児童・生徒(9~17歳)の体脂肪率を算定・評価する小児専用ソフトです。(インピーダンス測定器セット販売あり)

監修：日本大学医学部小児科学教室
協力：小児科法研究会

お問合せ・カタログ請求は
島津サイエンス株式会社
TEL.03(5542)3222 FAX.03(5542)3223

「Dr.プランプ」専用ホームページ <http://www.dr-plump.info/>